平成27年度 第9回 大分大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会 会議の記録の概要

	開催日時	平成27年12月8日(火)16:00~17:16	
開催場所 大分大学医学部附属病院 病院第一会議室			
	川安子早々	白尾委員長、村上副倭員長、上村委員、糸永委員、伊東委員、大戸委員、石崎委員、	
	出席委員名	寺町委員、定金委員、大嶋委員、松下委員、工藤委員、海老名委員、廣田委員	

議題及び審議結果を含む主な議論の概要

■□■ 迅速審査 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審論課
A15-010	塩野義製製株式会社の依頼こよるS-888711の血小板減少 患者を対象としたオープンラベル試験	治験が担医師の追加の妥当性こったで審議した。	承認
A15-013	ソラフェニブ治療歴を有する c-Met 高発現の切除不能 肝細胞癌患者を対象としたARQ 197 の第111相無作為化 プラセポ対照二重盲検比較試験	説明文書・同意書の修正内容の 妥当性こついて審議した。	承認
B14-035	月経困難症患者を対象としてトラニラストの 有効性を検討する多施設共同、プラセボ対照、 無作為化二重盲検比較試験	実婦恒書、説明文書・同意書の 修正内容の妥当性こついて審議 した。	承認
B15-027	若年女性悪性腫瘍患者の妊孕性温存を目的とした 未受精門で凍結保存	説明文書・同意書の修正内容の 妥当性こついて審議した。	承認
B15-029	POEMS 症候群で対する自家末梢血幹細胞移植併用大量 化学療法の有効性および安全性の検討	実婦個書、説明文書・同意書の 修正内容の妥当性こついて審議 した。	承認
B15-030	HL-14	説明文書・同意書の修正内容の 妥当性こついて審議した。	承認

■□■ 新規依頼 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審查結果
B15-034	幽門側骨切除術後残胃胃炎の長期間における内視鏡的・ 組織学的変化に関する研究	実施個書等の内容について議論し 臨床研究実施の妥当性について審議した。	修正の上 承認
C15-001	幽門側骨切除術後残胃胃炎の長期間における内視鏡的・ 組織学的変化に関する研究	実施個書等の内容について議論し臨床研究実施の妥当性について審議した。	修正の上 承認

■□■ 重篤な有害事象報告 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
A10-005	ノバルティスファーマ株式会社の依頼による TRI476(Oxcarbazepine)の部分発作を有する 小児てんかん患者を対象とした 第Ⅱ/Ⅲ相試験	重篤な有害事象に関する報告に 基づき、引き続き治験を実施すること の妥当性ごついて審議した。	承認
A15-004	SPP-004のミトコンドリア病を対象とした多施設共同試験	重篤な有害事象に関する報告に 基づき、引き続き医師主導治験を実施 することの妥当性について審議した。	承認

■□■ 安全性精神性 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
A10-005	ノバルティスファーマ株式会社の依頼による TRI476(Oxcarbazepine)の部分発作を有する 小児てんかん患者を対象とした第Ⅱ/Ⅲ相試験	安全性情報に基づき、治験を継続 することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
A12-003	興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽性 肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の 第Ⅲ相試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認
A12-013	初発のソイリスク、ホルモン療法末治療・移生前立腺癌(mHNPC)を有する患者を対象とした、Abiraterone Acetate+ 低用量プレドニゾン+アンドロゲン除去療法(ADI)の併用療法と ADI 単独療法のランダム化二重盲検出軟制験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について審議した。	承認 (2 報告)
A13-014	日本イーライリリー株式会社の依頼による 第Ⅰb/Ⅱ相試験	安全性情報で基づき、治験を継続 することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
A13-021	乾癬患者を対象としたKHK4827の第Ⅲ相臨床試験 (継続長期投与試験)	安全性情報に基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認
A14-003	MSD 株式会社の依頼による深在性真菌症の 日本人患者を対象とした MK-5592 の 第Ⅲ相臨床試験	安全性情報に基づき、治験を継続 することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
A14-004	軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした MK-8931の二重盲検無作為化プラセボ対照が可消間比較起験 及び引き続き実施される二重盲検延長起験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性でついて 審議した。	承認 (2 報告)
A14-006	日本イーライリリー株式会社の依頼による 非小細胞肺癌患者を対象とした第Ⅲ相試験	安全性情報で基づき、治験を継続 することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)

A14-009	レボドッ併用下のパーキンソン病の治療における、 TVP-1012 (0.5mg 又は1mg) の第2/3相試験	安全性情報で基づき、治験を継続 することの妥当性でついて 審議した。	承認
A14-010	血管新生緑内障を有する日本人患者を対象とした アフリベルセプトの硝子体内投与による有効性、安全性及び 忍容性を検討する無作為化二重應較比較対照第Ⅲ相長験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
A15-001	パーキンソニズムを伴うレビー小体型認知症患者を対象とした AD-810Nの検証的試験 (第3相試験)	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認
A15-003	喘息患者を対象とした CAT-354 の有効性及び 安全性を検討する第Ⅲ相試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認
A15-008	進行性又は難合性の固形腫瘍又はリンパ腫の患者を対象に線維 芽細胞増殖因子受容体(pan-FGFR)チロシンキナーゼ阻害薬 JNJ-42756493の安全性、薬物動態及び薬力学を評価するための 第1相試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について審議した。	承認 (2 報告)
A15-009	メルクセローノ株式会社の依頼による MSB0010718C の第 I 相試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
A15-011	MSD 株式会社 アルツハイマー型認知症による 健忘型軽度認知障害 (Prodromal AD) 患者を対象 とした MK-8931 (SCH 900931) の第Ⅲ相試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について 審議した。	承認 (2 報告)
F12-002	第一三共株式会社の依頼による アルツハイマー型認知症患者を対象とした SUN Y7017 (メマンチン塩酸塩)の 製造販売後臨床試験	安全性情報で基づき、治験を継続することの妥当性について審議した。	承認

■□■ 実施計画変更申請 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
	興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽	治験実施に書の変更に関して、	
A12-003	性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の	治験を継続することの妥当性こつ	承認
	第Ⅲ相試験	いて審議した。	
	初発のソイリスク、ホルモン療法大治療・移動が原癌	治験分担医師の変更に関して、	
A12-013	(mHNPC)を有する患者を対象とした、Abiraterone Acetate+	治験を継続することの妥当性こつ	承認
A12-013	低用量プレドニゾン+アンドロゲン除去療法(ADI)の併用療法	いて審議した。	净商
	と ADT 単独療法のランダム化二重盲検比較試験	V・ヘー 一	

	T	<u> </u>	
A13-019	帝人ファーマ株式会社の依頼による GGS の 視神経炎を対象とした第Ⅲ相試験	治験実施計画書分冊、説明文書・ 同意書、創築ボランティアカード の変更に関して、治験を継続する ことの妥当性について審議した。	承認
A14-009	レボドッ併用下のパーキンソン病の治療における、 TVP-1012 (0.5mg 又は1mg) の第2/3 相試験	治験薬物要書、説明文書・同意書、 治験参加カード、治験分担医師の 変更に関して、治験を継続するこ との妥当性こついて審議した。	承認
A15-001	パーキンソニズムを伴うレビー小体型器が症患者を 対象としたAD-810Nの検証的試験 (第3相対験)	治験薬物要書別冊の変更に 関して、治験を継続することの 妥当性について審議した。	承認
A15-008	進行性又は難治性の固形腫瘍又はリンパ腫の患者を対象で線維芽細胞増殖因子受容体 (pan-FGFR) チロシンキナーゼ阻害薬 JNJ-42756493 の安全性,薬物動態及び薬力学を評価するための第1相試験	治験実施・回書、治験薬物要書、 説明文書・同意書の変更に関して、 治験を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B11-053	慢性心不全患者における両室ペーシング治療の血管内皮機 能・冠微小血流・心臓自律神経機能への効果を調査する研究	実施・同意書、説明文書・同意書、 研究分担医師の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B13-007	心内インピーダンス(ICI)と心不全患者管理に関連する臨床 マーカーを比較し、ICI 測定の臨床が妥当性を実証する前向き 非無作為化多施設共同研究	実施計画書、説明文書・同意書の 変更に関して、臨末研究を継続 することの妥当性について審議 した。	承認
B13-014	EGFR 遺伝子変異場性電影者未治療・進行非り細胞肺癌を対象 としてゲフィチニブにより病勢コントロールが得られた後 ゲフィチニブ継続投与の意義を検討する無作為化第II相 臨末試験 (LOGIK1105)	説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B13-015	完全切除非扁平上皮非り細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビノレルビン+シスプラチン併用療法とビノレルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第111相よ験	説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B13-035	同種造血幹細胞移植後患者における 13 価肺炎球菌コンジュゲートワクチン複数回接種の 有効性および安全性の評価	実施計画書、実施計画書別紙、説明文書・同意書、アセント文書・確認書の変更に関して、臨末研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B13-037	高悪生度神経内分泌肺癌完全切除例ご対するイリノテカン+ シスプラチン療法とエトポシド+シスプラチン療法の ランダム化比較試験	説明文書・同意書、JOOG バイオバ ンク説明文書・同意書の変更に関 して、臨末研究を継続することの 妥当性について審議した。	承認

B13-038	胸部導切CT所見に基づくすりガラス影優位のcTINO肺癌に 対する区域切除の非ランダム化検証的試験	説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B13-062	膀胱癌に対する da Vinci Sを用いたロボット支援関盟第下 膀胱全網銘析の有用性と安全性に関する研究	研究計画書、説明文書・同意書、 の変更に関して、臨床研究を継続 することの妥当性について審議し た。	承認
B14-008	難台生ウイルス眼感染疾患に対する包括的迅速PCR診断	研究制画書、ホームページ掲載 文書の変更に関して、臨末研究を 継続することの妥当性について 審議した。	承認
B14-009	難台性細菌・真菌眼感染疾患に対する包括や迅速PCR診断	研究制画書、ホームページ掲載 文書の変更に関して、臨末研究を 継続することの妥当性について 審議した。	承認
B14-010	個別化術前導入療法臨末試験-1 (PIT-1)	説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B14-035	月経困難症患者を対象としてトラニラストの有効性を検討 する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検比較試験	実施・画書、実施・画書別紙2、 実施・画書別紙3、 実施・画書(大分大学版)、 説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B15-003	SST 術前導入療法臨床試験(SST)	説明文書・同意書の変更に関して、 臨末研究を継続することの妥当性 について審議した。	承認
B15-005	FDG-PET によるアルソハイマー病の診断に関する 多幅改共司研究	安全性情報の取り扱いに関する 手順書の変更に関して、臨床研究 を継続することの妥当性について 審議した。	承認
B15-016	安定型元動脈疾患を合併する非弁膜記性心房細動患者におけるリバーロキサバン単角膜はこ関する臨床研究(AFIRE Study)	実施価書、説明文書・同意書の 変更に関して、臨末研究を継続 することの妥当性ごついて審議 した。	承認

■□■ 継続審査 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
	関連総合を関する関連の対理を対し、 についての検討	実施状況報告書に基づき、臨末研究を	
B10-019		継続して行うことの妥当性こついて	承認
	(C 24 . Co2)201.	審議した。	
	超肥満患者や内因性インスリン分泌不良糖尿病肥満患者	実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B11-045	に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術+十二指腸空腸	継続して行うことの妥当性こついて	承認
	バイパス術 (胆膵バイパス術)	審議した。	
		実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B11-046	腹空鏡下肥満外科手術後のRoux-en-Y 胃バイパス術	継続して行うことの妥当性こついて	承認
		審議した。	
	フッ化ピリミジン系薬剤、プラチナ系薬剤、trastuzumab	実施状況報告書に基づき、臨末研究を	
B12-044	に不応となった進行・再発品2陽性胃癌・食道胃接合部 癌に対するweekly paclitaxel + trastuzumab併用療法	継続して行うことの妥当性について	承認
D1 = 011	vs. weekly paclitaxel療法のランダム化第11相ば験	審議した。	7,140
	(WJOG7112G)		
	胃粘膜下腫瘍こおける粘膜切開生検の有効性に関する 検討	実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B13-056		継続して行うことの妥当性こついて	承認
		審議した。	
	HLA半合致移植こおけるGWHD予防の安全性の検討	実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B13-060		継続して行うことの妥当性について	承認
		審議した。	
	膀胱癌に対するda Vinci Sを用いたロボット支援関空鏡 下膀胱全摘分析の有用性と安全性に関する研究	実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B13-062		継続して行うことの妥当性こついて	承認
		審議した。	
	成人フィラデルフィア染色体含性precursor B 細胞性	実施状況報告書に基づき、臨末研究を	
B13-065	急性リンパ性白血病に対する多利併用化学療法による	継続して行うことの妥当性について	承認
	第II相編末試験(JALSG Ph()B-ALL213)	審議した。	
	臨末病期 I B/Ⅱ/Ⅲ食道癌(T4を除く)に対する術前(F	実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B14-021	療法/術前DCF療法/術前DF-RT療法の第III相比較試験(JCOG1109_NExT試験)	継続して行うことの妥当性について	承認
		審議した。	
		実施状況報告書に基づき、臨床研究を	
B14-030	JALSG MDS212	継続して行うことの妥当性について	承認
		審議した。	